

兵庫県下における川西市の男女共同参画の現状

日本の人口の半分は女性であり、政治、経済、社会など多くの分野の活動を担っているにもかかわらず、政策・方針等の決定過程への女性の参画は未だに低く、各分野における事業に女性の視点が十分に入っていない現状があります。

企業や地域活動の場など、さまざまな分野における女性の決定過程への参画は、女性だけでなく、男女が共に暮らしやすい社会の実現につながります。

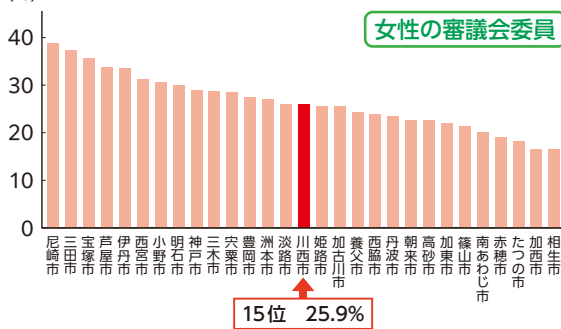
本市では、第4次ジェンダー平等推進プランで、2031(令和13)年度の「審議会等の女性委員の割合」の目標値を50%とするなど、40の評価指標を掲げています。

ここでは、兵庫県が毎年発行している『ひょうごの男女共同参画』から、兵庫県下における川西市の「審議会等への女性の登用状況」(目標値50%)、「市職員の管理職に占める女性の割合」(目標値30%)、「自治会長に占める女性の割合」(目標値20.6%)について見てみたいと思います。

2015(平成27)年度

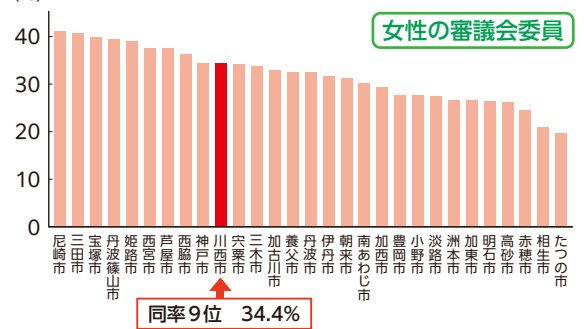
2025(令和7)年度

審議会等への女性の登用状況(市)

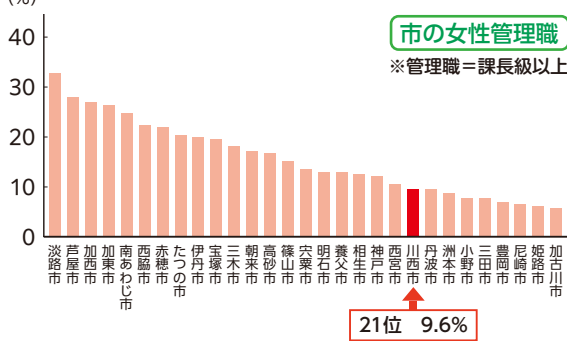


審議会等の女性委員の割合は15位から同率9位に上がっているね。

審議会等への女性の登用状況(市)

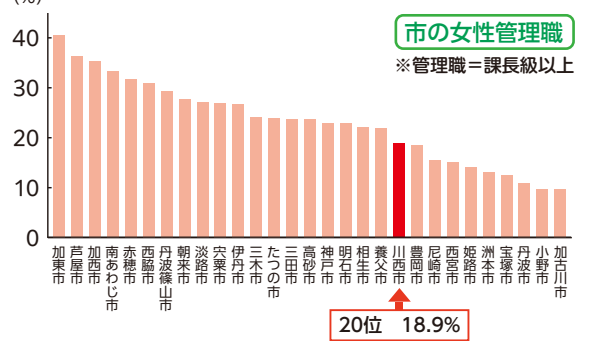


管理職に占める女性の割合(市)



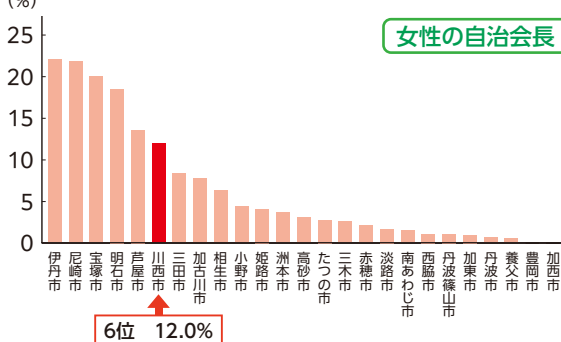
©川西市 2008

管理職に占める女性の割合(市)



数値は上がっているけど、人口の半分は女性なんだから、まだまだ少ないね。

自治会長に占める女性の割合(市)



※左記の「自治会長に占める女性の割合」は、2021(令和3)年度の図です。
この指標は、同年度から『ひょうごの男女共同参画』に掲載されています。

自治会長に占める女性の割合(市)

